

学生の確保の見通し等を記載した書類

ア 設置又は定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析

広島県は人口規模に比して年間医師養成数が少なく、さらに県内に多くの無医地区を有する。したがって広島県内に定着する医師の確保が喫緊の課題となっており、県で唯一の医師養成課程を持つ広島大学による医師供給が強く求められている状況である。

イ 地域・社会的動向等の現状把握・分析

広島県の単位人口あたりの年間医師養成数は 47 都道府県中 41 位と低く、医師の需要に対して供給能力に課題がある。この指標が広島県より下位の都道府県はほとんどが東京都あるいは大阪府に隣接しており大都市圏の医療に依存可能であることを考慮すると、実質的に全国で最も医師供給力に課題のある都道府県と言える。さらに厚生労働省令和 4 年度無医地区等調査によると広島県の無医地区数は 47 都道府県中第 2 位であり、日本国憲法第 25 条「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」が保障されていると言いつい難い状況に置かれた県民が少なからず存在している。したがって広島大学の医師供給力、とりわけ広島県内に定着する医師の供給力が重要である。

ウ 新設学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等

広島大学では平成 21 年度より地域枠である「ふるさと枠」を設け、県内高等学校を対象とした推薦入試によって地域医療に貢献する人材を選抜している。このふるさと枠の定員は現在 18 名（うち臨時定員 13 名）であり、医学科全入学者の 15%を占めている。この定員は広島大学が収容できる学生数上限と広島県からの要請数とを勘案して両者の合意により設定されている。令和 5 年 4 月時点で 139 名が卒業し、うち奨学金返還による離脱者は 1 名である。卒業生のうち臨床研修を修了した 100 名が広島県内で知事の指定した公的医療機関に配置されており、うち 40 名が知事の指定した中山間地域医療機関で、また 15 名が知事の指定した医師不足診療科（産婦人科および病理診断科）に従事している。他は知事の指定した県内都市部の医療機関で専門研修等を行っている。このようにふるさと枠は県内における医師確保、特に医師不足の顕著な地域や診療科における医師確保に貢献しており、今後もその効果の継続が期待できる。

エ 学生確保の見通し

地域における医師不足の解消が喫緊の課題であることから、令和 5 年度で終了する医学部医学科入学定員の暫定措置分（13 名）について、令和 6 年度に入学定員増（13 名）として収容定員を変更する。この入学定員 13 名については、広島県の策定する地域医療再生計画に基づく卒後一定期間の地域医療等の従事を条件とする奨学金が支給される「ふるさと枠広島県コース」での入学とする。

資料として、「医学部医学科の直近 5 年間の入学試験実施状況」【資料 1】を示す。

【資料 1】から、医学科の志願倍率は、直近 5 年間の平均は 5.15 倍であり、ふるさと枠広島県コースの志願倍率は、直近 5 年間の平均は 3.16 倍である。平成 21 年度のふるさと枠広島県コース設置時より入学者数が定員を下回った年は無い。また、上記に記載したように、令和 5 年度で入学定員措置が終了する 13 名の入学定員増を要求する

ものであり、ふるさと枠広島県コースに関して実際の入学定員の変更はないことから、これまでと同程度の志願倍率及び定員充足率 100%を維持できるものとする。

これらのことから、入学定員の増について妥当と判断する。

オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

オープンキャンパス、ふるさと枠入学希望者向けパンフレットの配布、高校生向け公開講座、高等学校訪問（模擬授業）等の実施、大学説明会等の参加を通じて、学生の確保に努めている。

資料として、「医学部医学科の直近5年間のオープンキャンパス参加状況」【資料2】を示す。

【資料2】から、過去2年間の対面実施での参加者数は、医学科入学定員の16倍程度で推移している。令和2年度、3年度はコロナ禍で対面でのオープンキャンパスが中止となりオンラインでの開催となり、令和4年度は抽選制で対面とオンラインのハイブリット型での実施となったが、動画閲覧数から多くの方に関心を持っていただいていることが分かる。

なおオープンキャンパスでは令和元年度からはふるさと枠広島県コースの入学相談コーナー（オンラインを含む）も設けている。また、令和3年度からふるさと在学生からのメッセージ動画を公開している。

また、高校生向け公開講座として「先端医療は今」の開講や依頼のあった高等学校へ訪問しての模擬授業の実施については、毎年度継続して行っている。さらに、本学主催の大学説明会への参加はもとより外部の要請を受けて外部主催の大学説明会にも参加し、本学科の入試案内等を行っている。

ふるさと枠に特化した取り組みとしては、ふるさと枠入学希望者向けのパンフレットを毎年作成し、県内高等学校および入学希望者に配布するとともに、インターネット上に公開している。また、広島県と協力し、ふるさと枠受験希望者向けのセミナーを中山間地の病院を会場として開催しており、令和4年度は79名の参加者があった。さらにふるさと枠の紹介動画を令和4年7月25日からインターネット上に公開しており、これまでの再生回数は3,600回となっている。

これらの取組により、本学科へ高い関心を持ってもらえることで志願者数を維持でき、入学定員を確保可能となる。

資料1 「医学部医学科の直近5年間の入学試験実施状況」

医学部医学科の直近5年間の入学試験実施状況												
年度	H31		R2		R3		R4		R5		5年間の平均	
	医学科	うち、ふるさと枠広島県コース	医学科	うち、ふるさと枠広島県コース	医学科	うち、ふるさと枠広島県コース	医学科	うち、ふるさと枠広島県コース	医学科	うち、ふるさと枠広島県コース	医学科	うち、ふるさと枠広島県コース
募集人員	120	18	118	18	118	18	118	18	118	18		
志願者数	766	55	545	51	552	50	693	55	503	57		
志願倍率	6.38	3.05	4.61	2.83	4.67	2.77	5.87	3.05	4.26	3.16	5.15	2.97
受験者数	669	55	489	51	499	50	635	55	461	57		
合格者数	120	18	120	18	120	18	121	18	120	18		
入学者数	120	18	118	18	118	18	118	18	118	18		
定員充足率	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

資料2 「医学部医学科の直近5年間のオープンキャンパス参加状況」

H30	R1	対面実施 過去2年間の 平均	R2	R3	R4	動画閲覧数を含めた過去5年間の平均
1810	1853	1831	7029	2228	1255	2835
説明会・施設見学・受験相談会 参加人数(2日間、会場:フェニックスホール及び霞キャンパス、医学科・保健学科合同開催、資料配付部数による数値)			コロナ禍により対面中止 オンラインオープンキャンパス 医学科紹介動画閲覧数 (2021.8.16現在)	コロナ禍により対面中止 オンライン個別相談件数24 +オンラインオープンキャンパス 医学科紹介動画閲覧数 2204 (2022.8.26現在)	コロナ禍により抽選制で実施 医学科参加者人数120 +オンラインオープンキャンパス 医学科紹介動画閲覧数 1135 (2023.8.21現在)	